

酪農ヘルパー業務電算システム

2-9.SQLServer バージョンアップ手引書 (Windows8)

2-9.SQLServer バージョンアップ手引書(Windows8)

1. 事前準備作業	1
1-1. バックアップの実施 (所要時間:1分)	1
2. SQL Server2008R2アンインストール作業	3
2-1. アンインストールの実施 (所要時間:5分)	3
3. SQL Server 2014インストール作業	9
3-1. セットアップの実行 (所要時間:5分)	9
3-2. セットアップ中	9
3-3. セットアップの完了	11
4. DB 初期構築作業(その1)	12
4-1. セットアップの実行 (所要時間:1分)	12
4-2. セットアップ中	12
4-3. セットアップの完了	12
5. DB 初期構築作業(その2)	13
5-1. セットアップの実行 (所要時間:1分)	13
5-2. セットアップの完了	13
6. DB 初期構築作業(その3)	14
6-1. セットアップの実行 (所要時間:1分)	14
6-2. セットアップの完了	14
7. データリストア作業	15
7-1. リストアの実施 (所要時間:1分)	15

1. 事前準備作業

※この作業にはUSBなどの外部記憶媒体が必要となります。

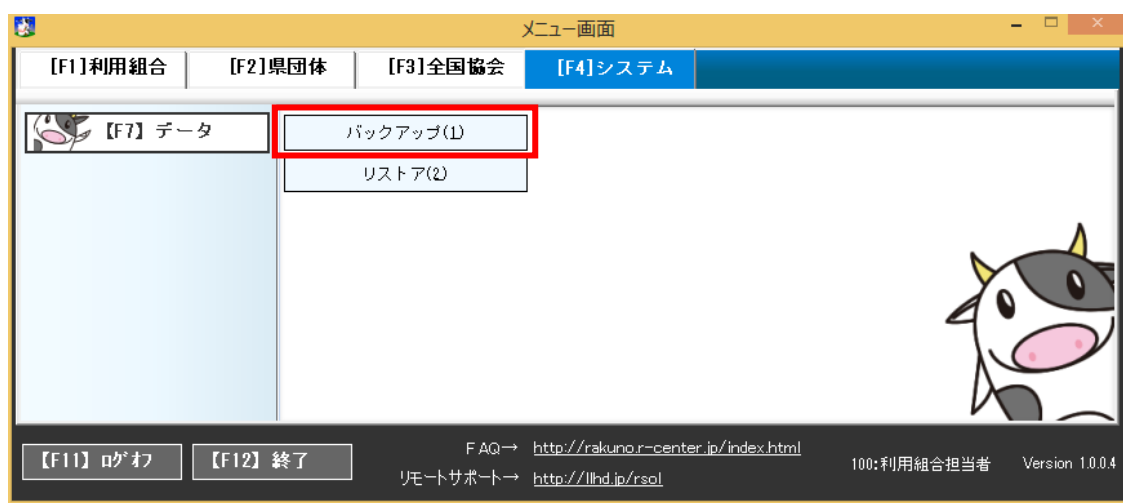
1-1. バックアップの実施

(所要時間 : 1 分)

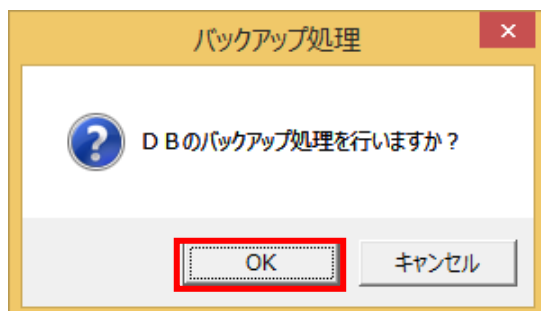
- ① 酪農ヘルパー業務電算システムを起動し、IDとパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックしてください。



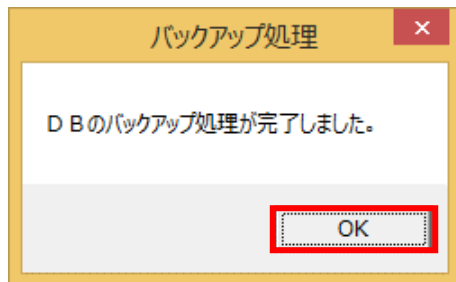
- ② 下記画面が表示されます。[システム]タブから[データ]ボタンをクリックしてメニューを開き、[バックアップ]ボタンをクリックしてください。



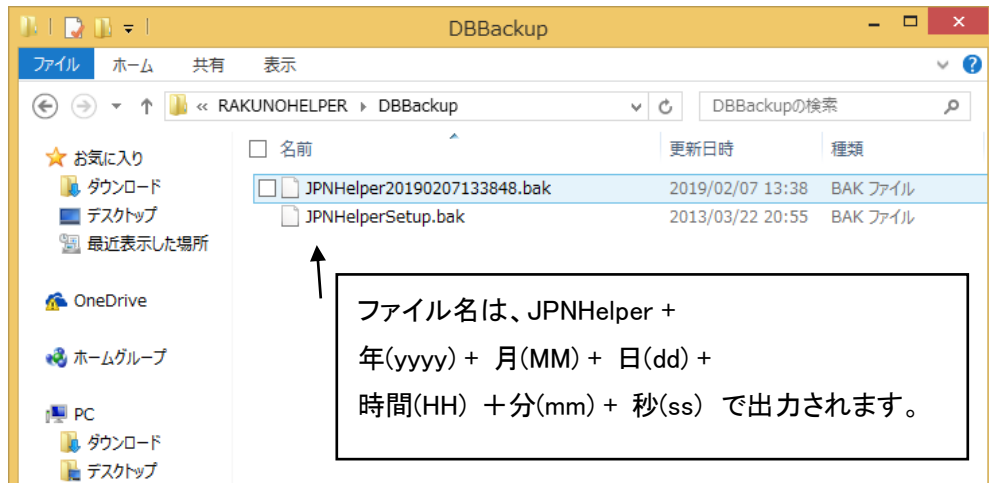
- ③ 下記画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



- ④ 下記画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



- ⑤ これでバックアップが完了しました。コードマスタメンテで設定されている保存先に、バックアップファイルができていることを確認してください。



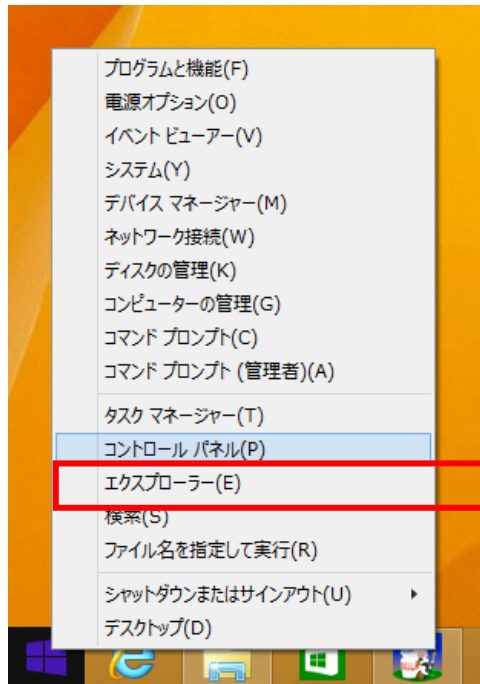
- ⑥ USBなどの外部記憶媒体に作成したバックアップファイルを保存してください。

2. SQL Server2008R2 アンインストール作業

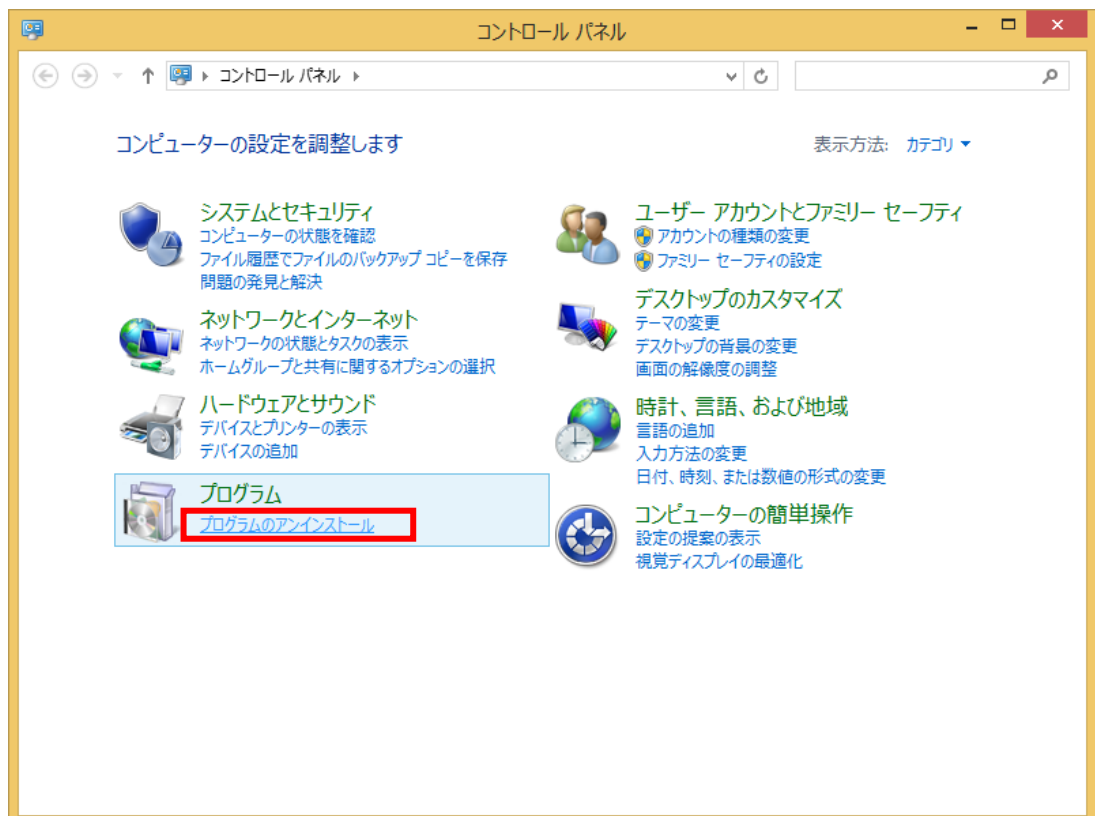
2-1. アンインストールの実施

(所要時間 : 5 分)

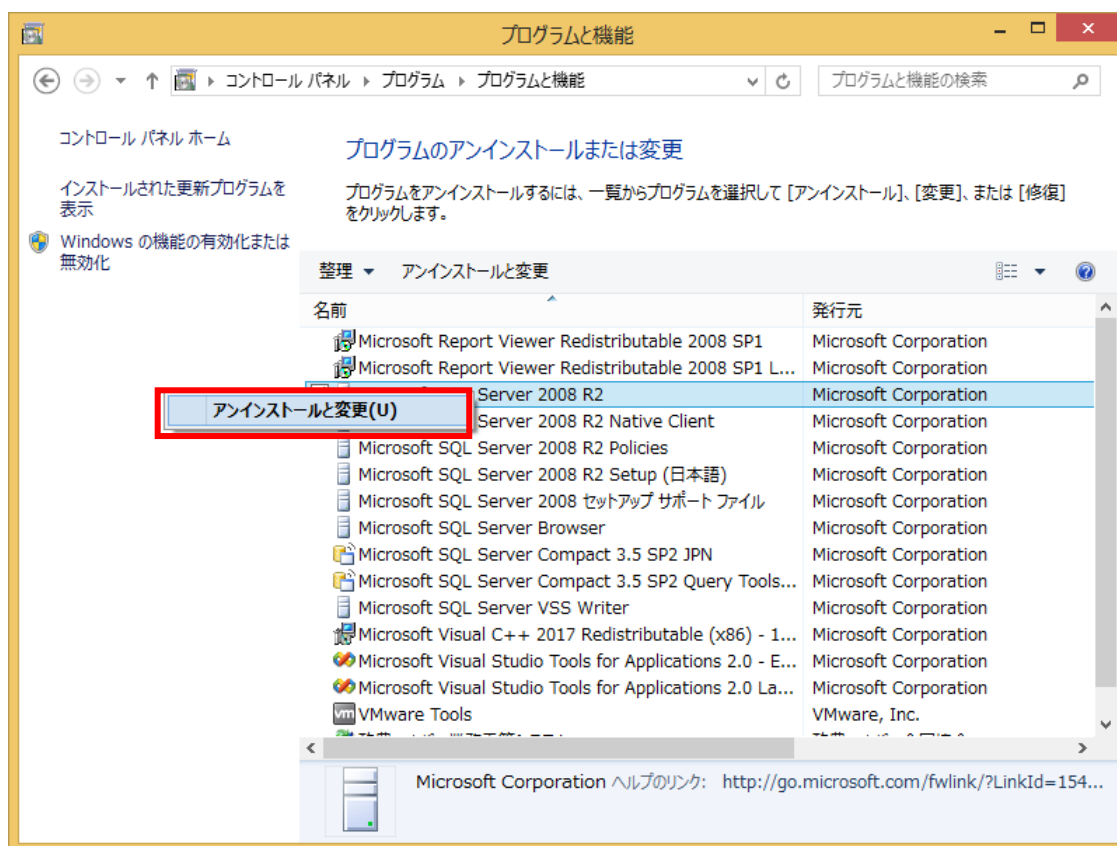
- ① スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックしてください。



- ② 下記画面が表示されます。[プログラムのアンインストール]をクリックしてください。



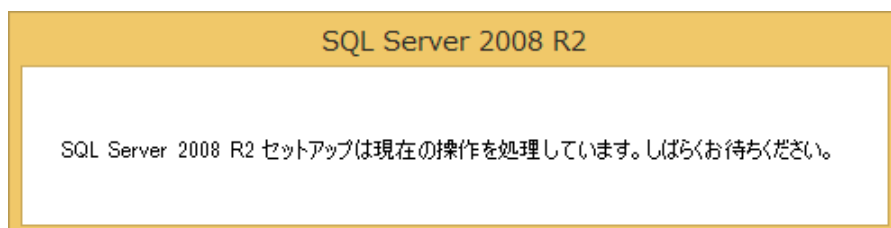
- ③ 下記画面が表示されます。「Microsoft SQL Server 2008 R2」を右クリックして、「アンインストールと変更」をクリックしてください。



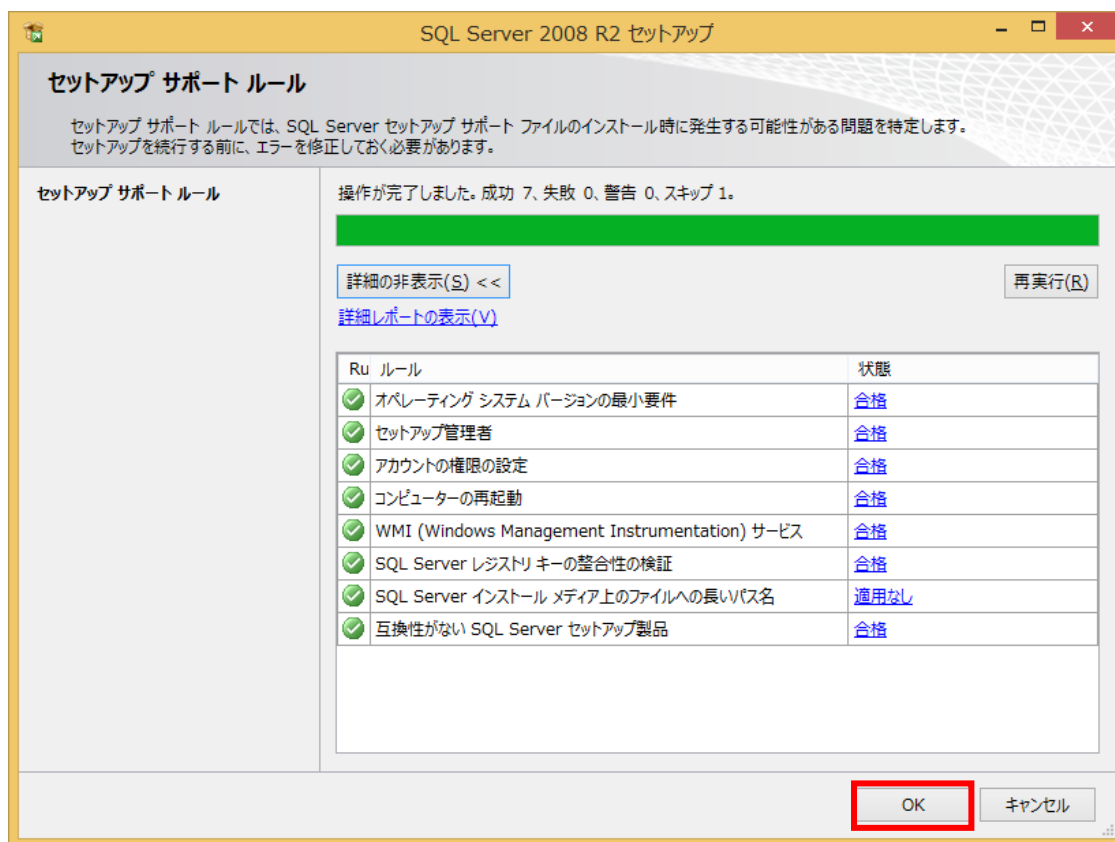
- ④ 下記画面が表示されます。[削除]をクリックしてください。



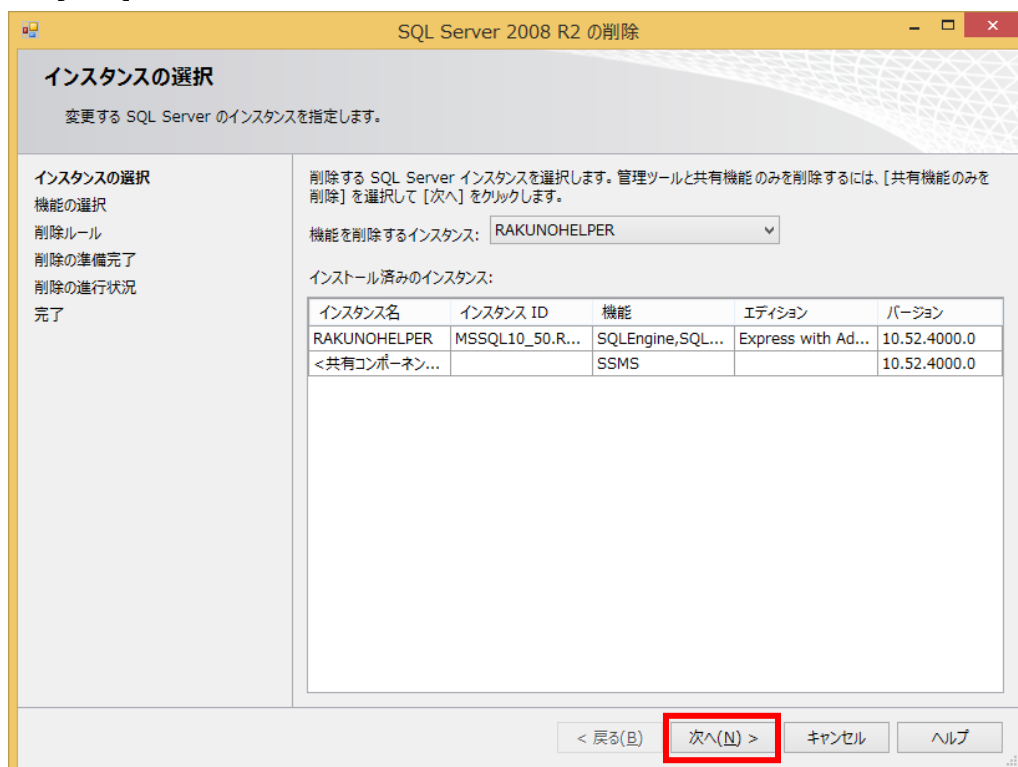
- ⑤ 下記画面が表示されます。しばらくお待ちください。



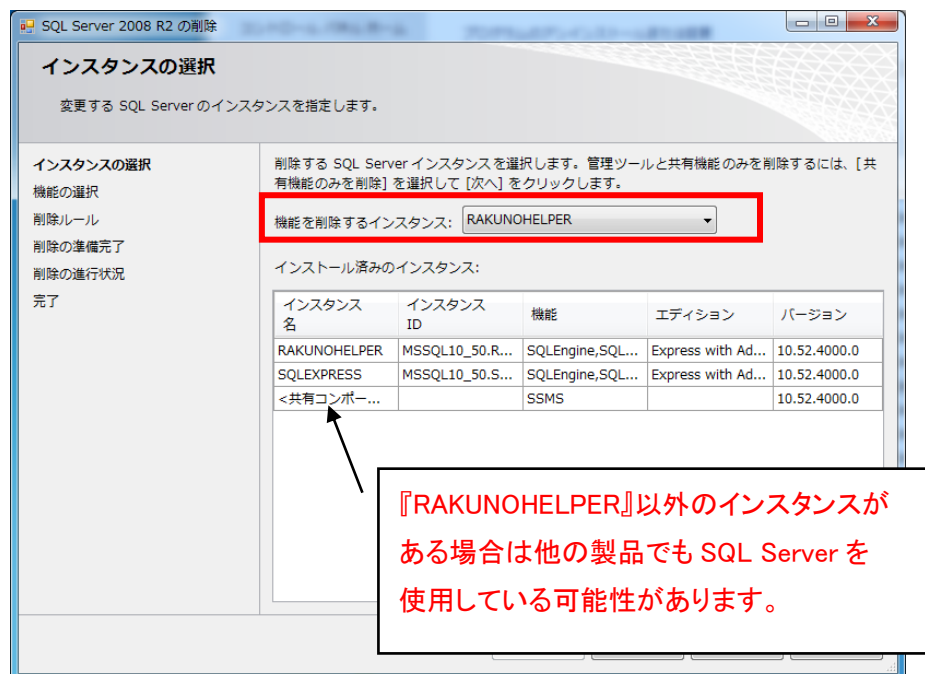
- ⑥ 下記画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



- ⑦ 下記画面が表示されます。「機能を削除するインスタンス」で『RAKUNOHELPER』を指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

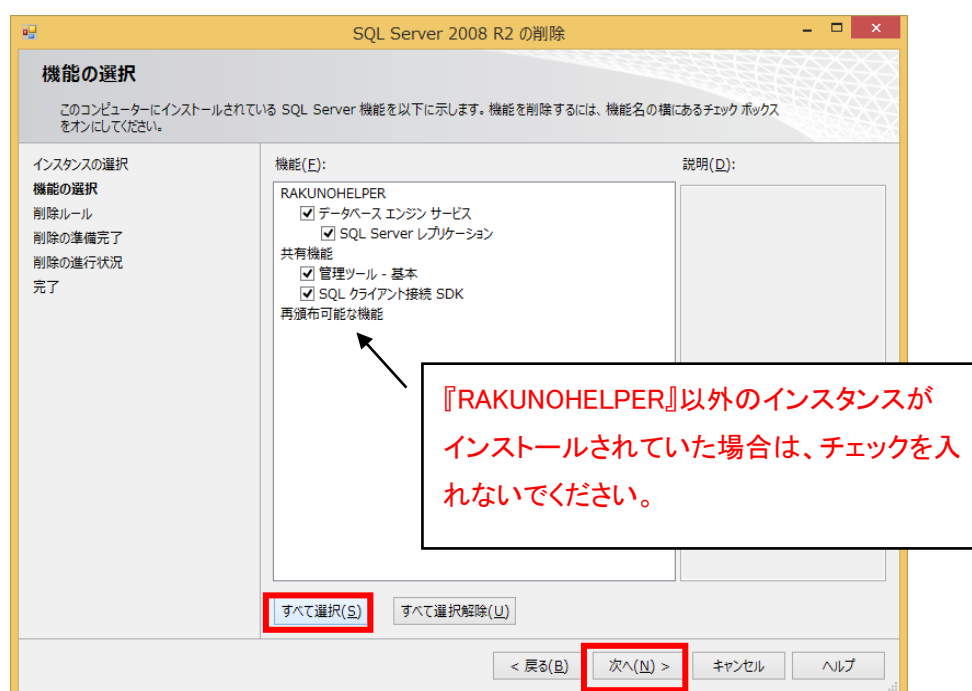


※下図のように「インストール済みのインスタンス」に『RAKUNOHELPER』以外が表示されている場合は、他社製品で SQL Server を使用している可能性があります。誤って指定しないように注意してください。

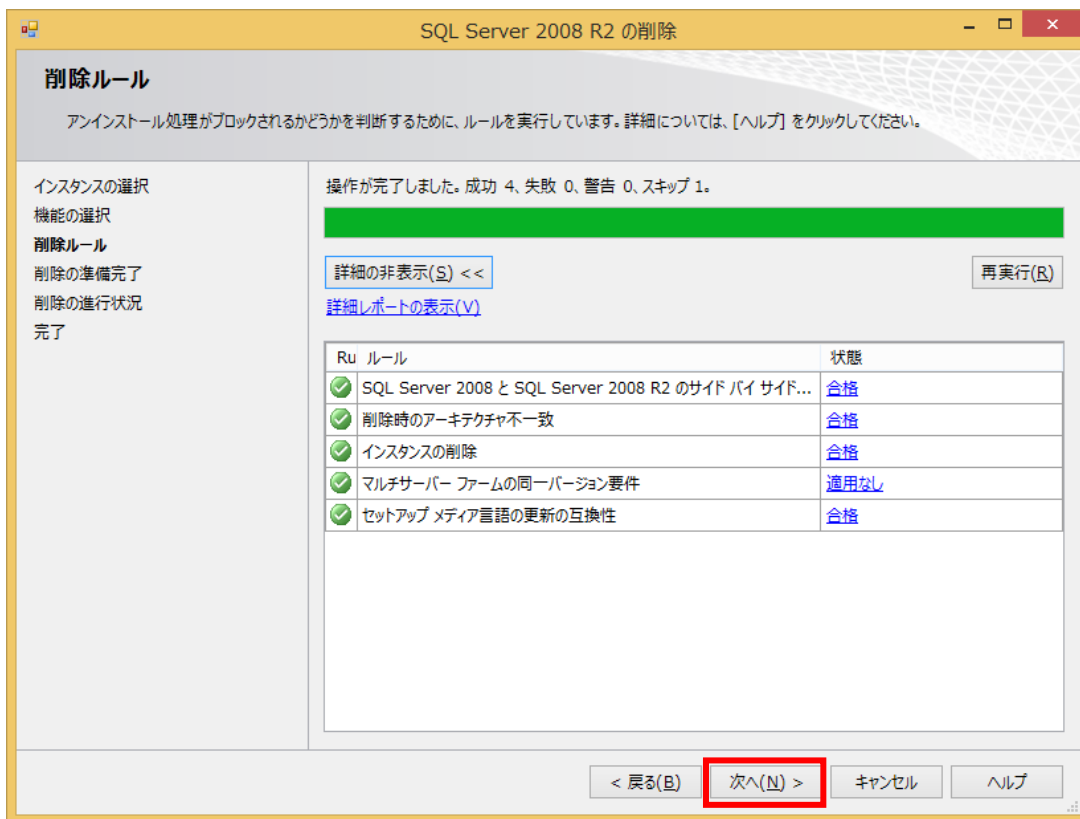


- ⑧ 下記画面が表示されます。[すべて選択] ボタンをクリックして、[次へ] ボタンをクリックしてください。

※手順⑦で『RAKUNOHELPER』以外のインスタンスがインストールされていた場合は、「データベースエンジンサービス」、「SQL Server レプリケーション」だけにチェックを入れて、[次へ] ボタンをクリックしてください。



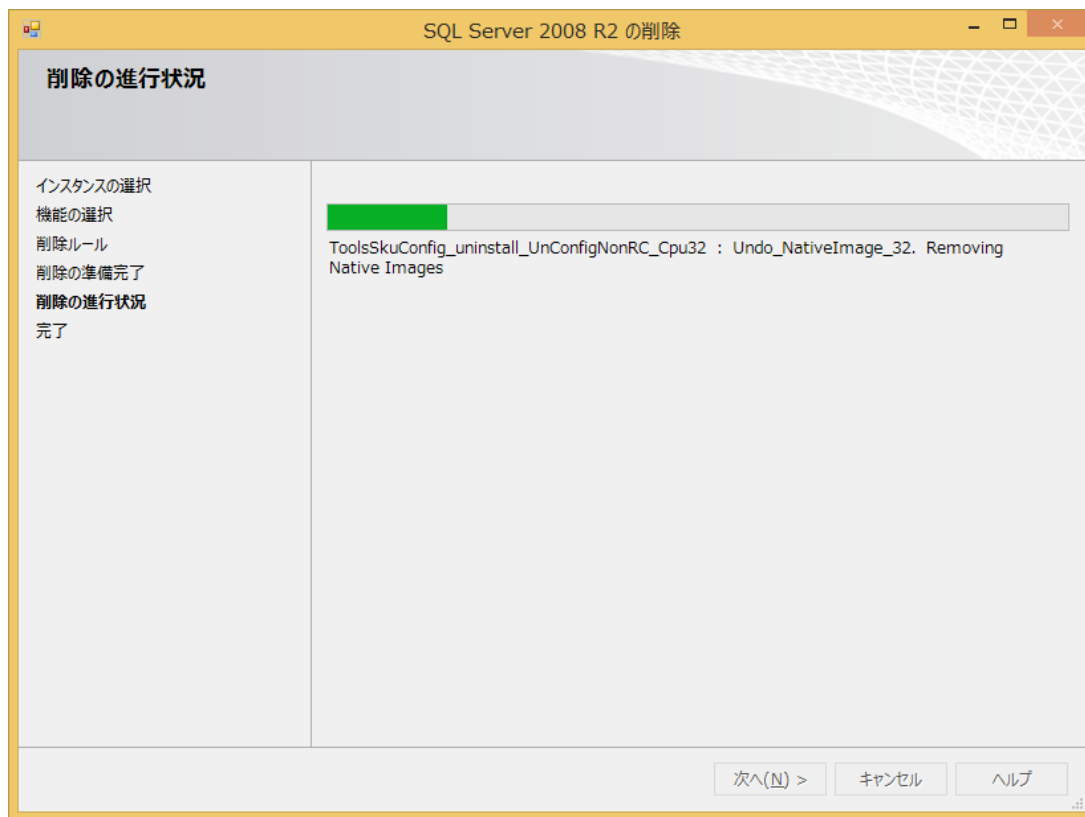
- ⑨ 下記画面が表示されます。そのまま[次へ]ボタンをクリックしてください。



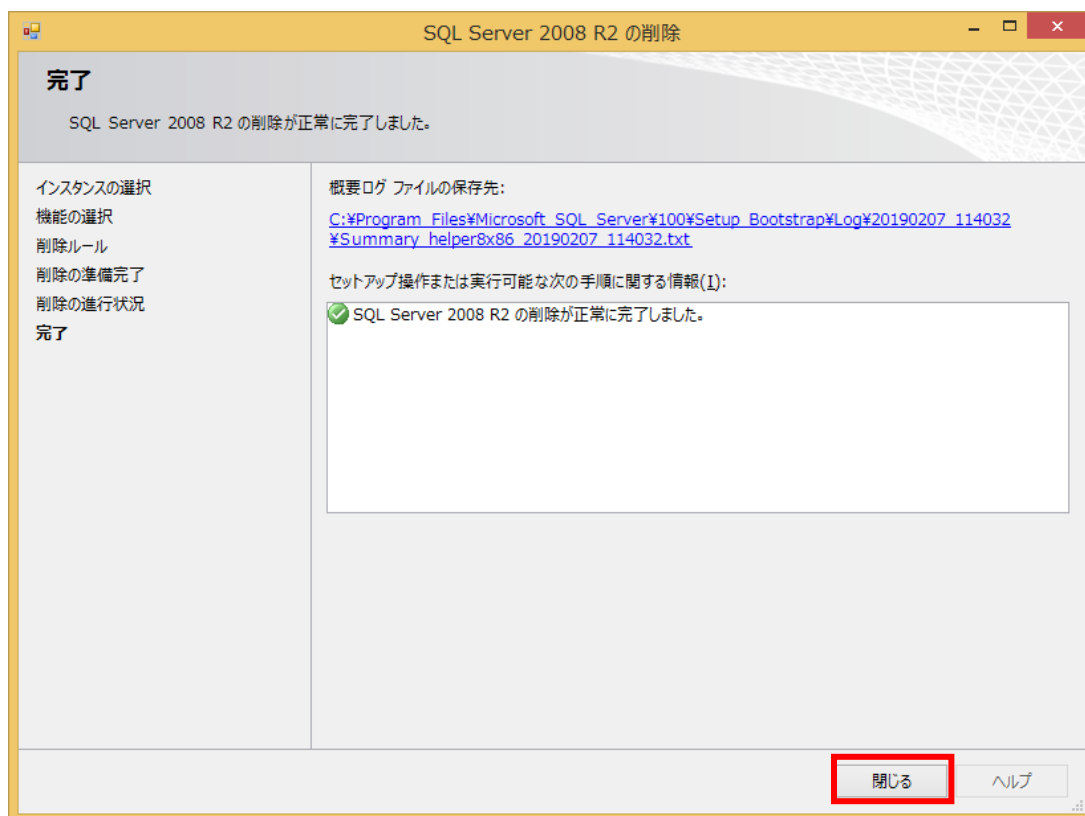
- ⑩ 下記画面が表示されます。[削除]ボタンをクリックしてください。



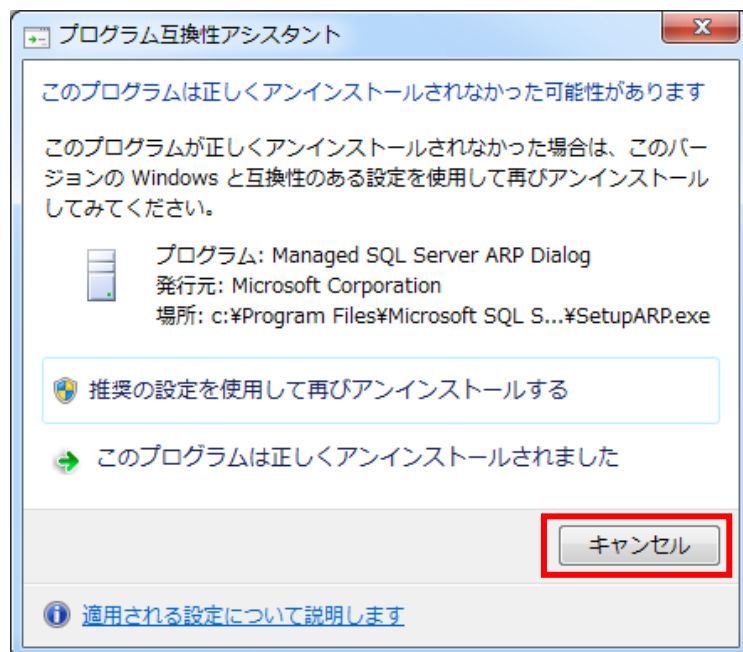
- ⑪ 下記画面が表示されます。しばらくお待ちください。



- ⑫ 下記画面が表示されます。「SQL Server 2008 R2 の削除が正常に完了しました。」と表示されたら[閉じる]ボタンをクリックしてください。



※手順⑦で『RAKUNOHELPER』以外のインスタンスがインストールされており、『RAKUNOHELPER』のインスタンスのみ削除した場合、下図が表示されることがあります。
その場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてください。



3. SQL Server 2014 インストール作業

3-1. セットアップの実行

(所要時間 : 5 分)

※この処理の完了後、パソコンの再起動が必要となります。

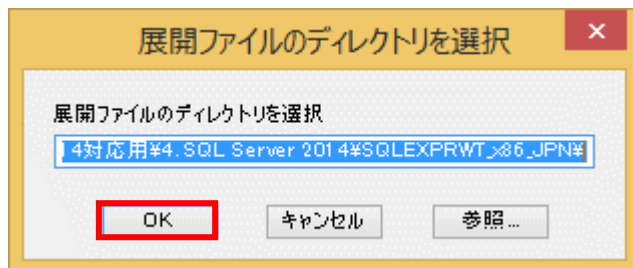
インストール CD の SQLServer バージョンアップフォルダの 4. SQL Server 2014 の Install.bat をダブルクリックします。

3-2. セットアップ中

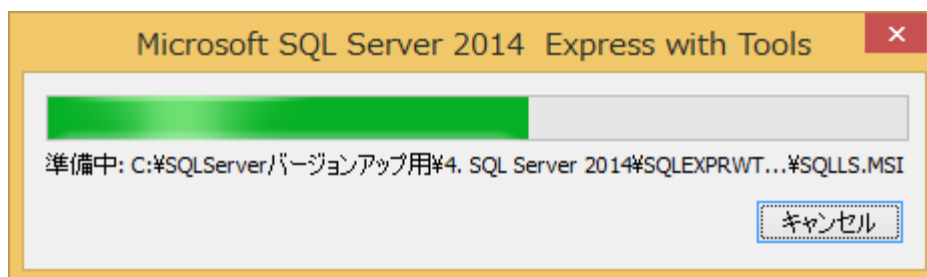
① 下記画面が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。



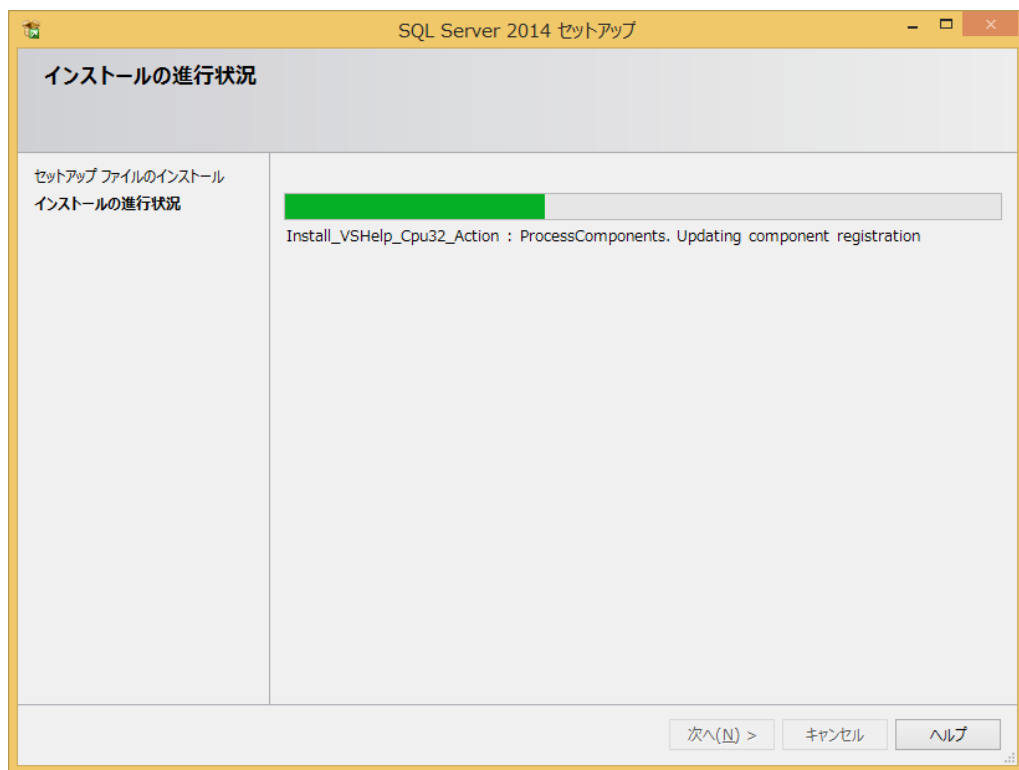
- ② 下記画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。



- ③ 下記画面が表示されます。しばらくお待ちください。

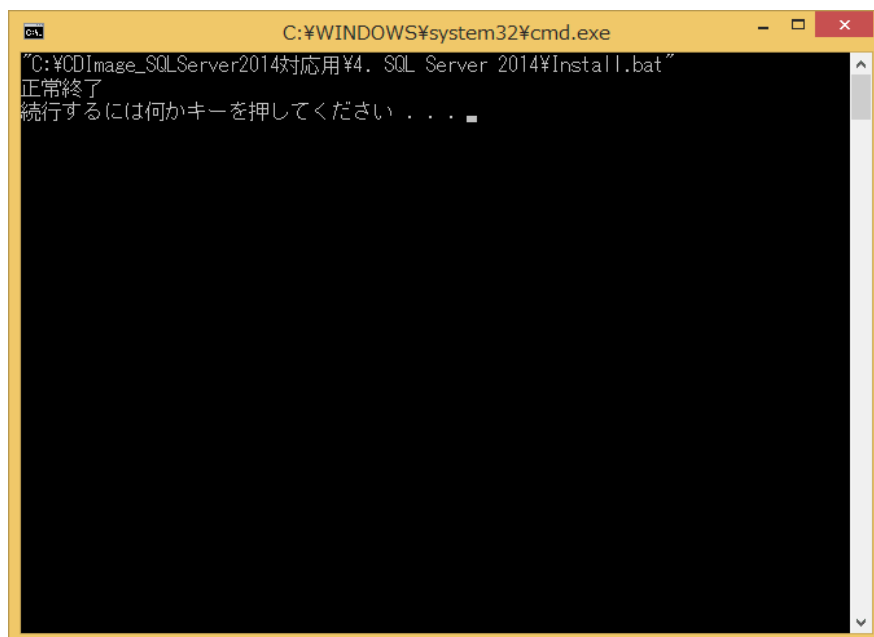


④ 下記画面が表示されます。



3-3. セットアップの完了

下記画面で「正常終了」のメッセージが表示されればセットアップの完了です。Enter キーを押して画面を閉じます。



この後、パソコンの再起動を行ってください。

4. DB 初期構築作業（その1）

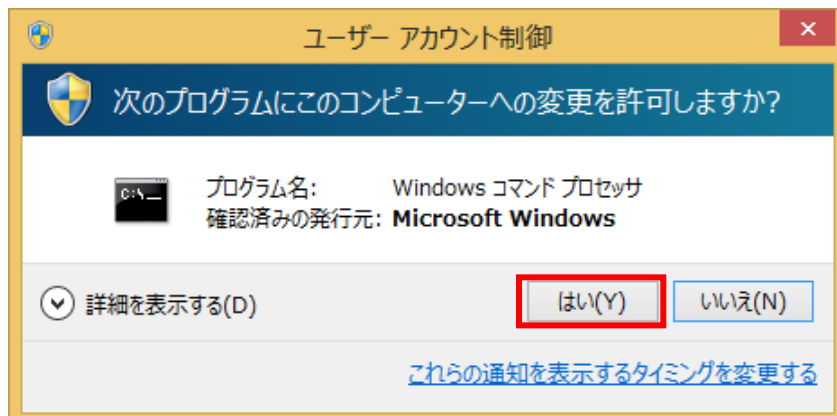
4-1. セットアップの実行

（所要時間：1分）

インストール CD の SQLServer バージョンアップフォルダの 5. DB 初期構築の setup1.bat をダブルクリックします。

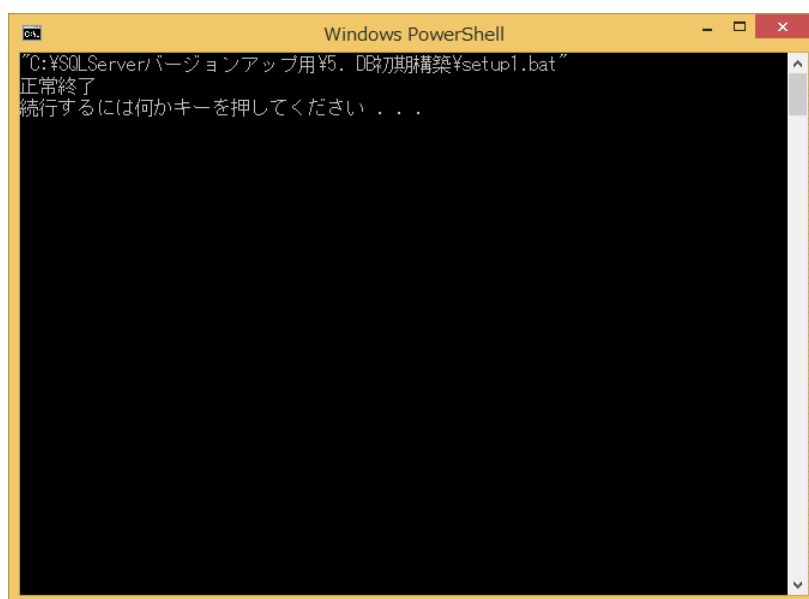
4-2. セットアップ中

下記画面が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。



4-3. セットアップの完了

下記画面で「正常終了」のメッセージが表示されればセットアップの完了です。Enter キーを押して画面を閉じます。



5. DB 初期構築作業（その2）

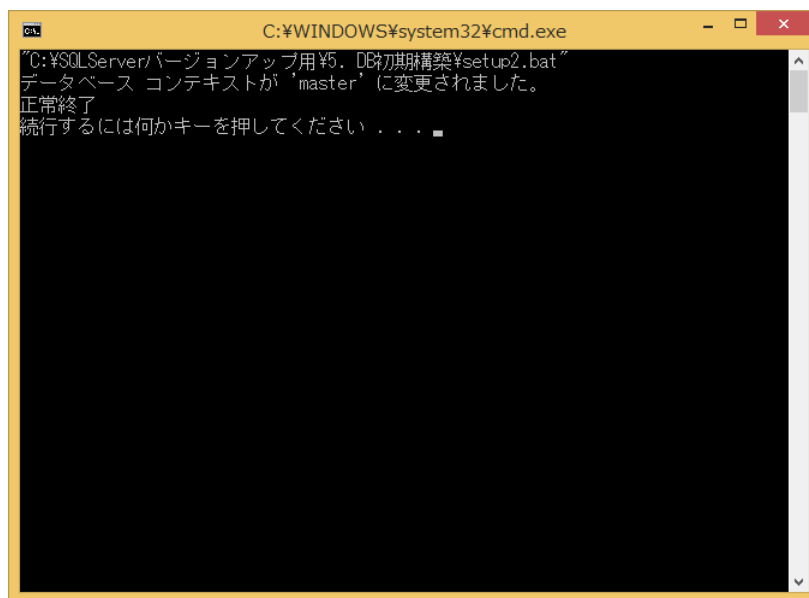
5-1. セットアップの実行

（所要時間：1分）

インストール CD の SQLServer バージョンアップフォルダの 5. DB 初期構築の setup2.bat をダブルクリックします。

5-2. セットアップの完了

下記画面で「正常終了」のメッセージが表示されればセットアップの完了です。Enter キーを押して画面を閉じます。



6. DB 初期構築作業（その3）

6-1. セットアップの実行

（所要時間：1 分）

インストール CD の SQLServer バージョンアップフォルダの 5. DB 初期構築の setup3.bat をダブルクリックします。

6-2. セットアップの完了

下記画面で「正常終了」のメッセージが表示されればセットアップの完了です。Enter キーを押して画面を閉じます。

```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
ド手順が実行されています。
データベース 'JPNHelper' で、バージョン 772 からバージョン 773 へのアップグレード
手順が実行されています。
データベース 'JPNHelper' で、バージョン 773 からバージョン 774 へのアップグレード
手順が実行されています。
データベース 'JPNHelper' で、バージョン 774 からバージョン 775 へのアップグレード
手順が実行されています。
データベース 'JPNHelper' で、バージョン 775 からバージョン 776 へのアップグレード
手順が実行されています。
データベース 'JPNHelper' で、バージョン 776 からバージョン 777 へのアップグレード
手順が実行されています。
データベース 'JPNHelper' で、バージョン 777 からバージョン 778 へのアップグレード
手順が実行されています。
データベース 'JPNHelper' で、バージョン 778 からバージョン 779 へのアップグレード
手順が実行されています。
データベース 'JPNHelper' で、バージョン 779 からバージョン 780 へのアップグレード
手順が実行されています。
データベース 'JPNHelper' で、バージョン 780 からバージョン 781 へのアップグレード
手順が実行されています。
データベース 'JPNHelper' で、バージョン 781 からバージョン 782 へのアップグレード
手順が実行されています。
RESTORE DATABASE により 978 ページが 0.041 秒間で正常に処理されました (186.249 M
B/秒)。
正常終了
続行するには何かキーを押してください...
```


7. データリスト作業

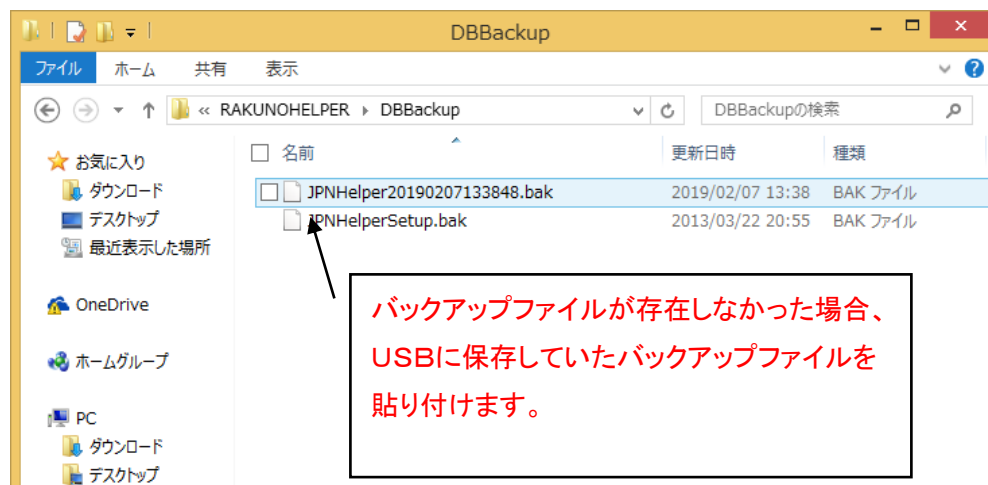
※「1. 事前準備作業」でバックアップファイルを保存したUSBなどの外部記憶媒体を用意してください。

7-1. リストアの実施

(所要時間：1分)

- ① Cドライブ直下にある「RAKUNOHELPER」フォルダ内の「DBBackup」フォルダを確認し、「1. 事前準備作業」で作成したバックアップファイルが存在する場合は、②の作業をおこなってください。

※万一、バックアップファイルが存在しない場合、USBに保存していたバックアップファイルを貼り付けてください。



- ② 酪農ヘルパー業務電算システムを起動し、IDとパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックしてください。



- ③ 下記画面が表示されます。事前に作成したバックアップファイルをリストアするので、ここには適当な値を入力し、[登録]ボタンをクリックしてください。

初期情報設定

県コード

支庁コード

利用組合

協会集計コード

互助会コード

開始年月 2013/04

F9 [登録]

県コードを選択してください。

件数表示欄 100:利用組合担当者

- ④ 下記画面が表示されます。[システム]タブから[データ]ボタンをクリックしてメニューを開き、[リストア]ボタンをクリックしてください。

メニュー画面

[F1]利用組合 [F2]県団体 [F3]全国協会 [F4]システム

[F7] データ

バックアップ(1)

リストア(2)

FAQ → <http://rakunor-center.jp/index.html>

リモートサポート → <http://lhd.jp/rsol>

100:利用組合担当者 Version 1.0.0.4

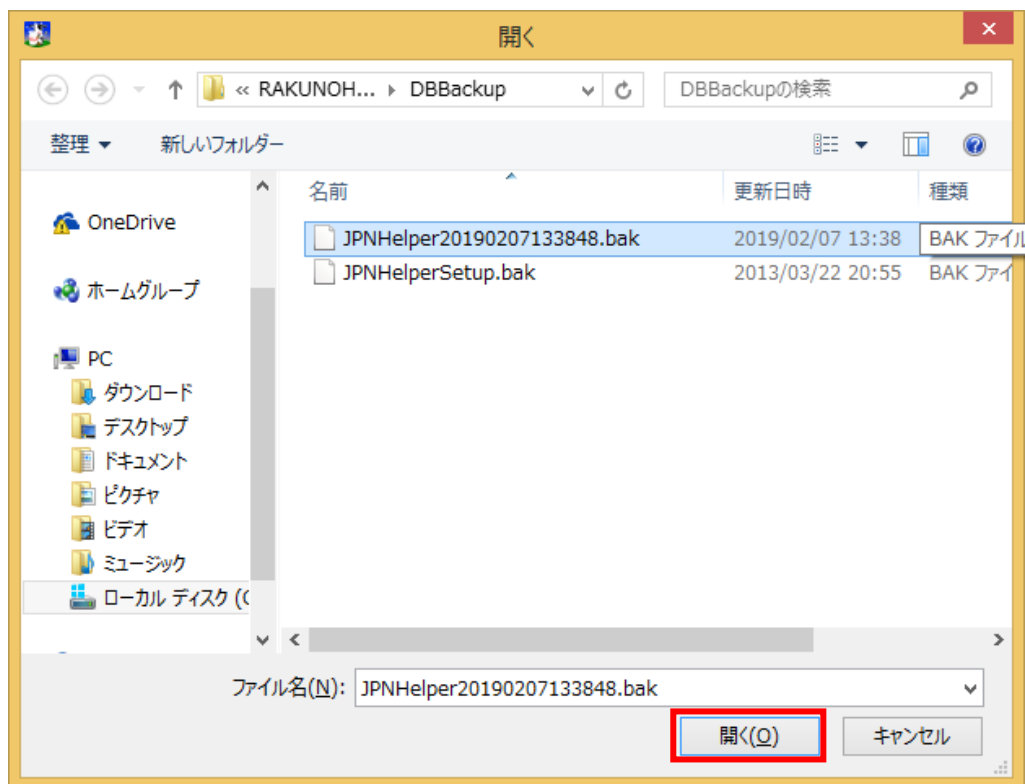
- ⑤ 下記画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。

リストア処理

DBのリストア処理を行いますか?

OK キャンセル

- ⑥ 下記画面が表示されます。バックアップで作成したファイルをクリックし、[開く]ボタンをクリックしてください。



- ⑦ 下記画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。

